

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミⅡ	チーム名	Okada Ja パン
タイトル	神戸のパンでお腹パンパン		
テーマ群	e) 産業・企業 f) 歴史・思想		
メンバー	田村 遥 田中 一輝 横町 颯乃 竹村 小夏 山本 遼 山本 聖吾 安川 愛 古門 勇亮 瀬戸 歩佳		
研究計画内容	<p>【研究テーマ】</p> <p>神戸にパンの文化がなぜ根付いたのか、神戸のパン文化の歴史、現状、そして課題という様々な視点から研究をすることで、コンビニエンスストアや地域のスーパーと地元神戸にあるパン屋さんとの差別化を図り、それをもとに神戸のパン文化をこれからの世代に広めていく方法を考える。</p> <p>【研究の内容】</p> <p>神戸港が開港して以来、コメ志向の強い日本人でも多くのパンが主食として食べられる文化が芽生えてきた。パンといわれて皆さんはどこを想像するだろうか。多くの方は神戸を想像しただろう。私たちが甲南大学生に対して行ったアンケート調査でも、神戸と答えた人が圧倒的に多かった。しかし、神戸には、これほどまでのパン文化が根付いているにも関わらず、パン屋と同じくらい他の店舗で買われているのはなぜだろう。その原因の一つとして考えられるのは、コンビニエンスストアの躍進だ。低価格で、24時間営業という利便性を持ち合わせている。実際に甲南大学生に対して行った、アンケート調査によると、パンに対して出してもよいと考える価格よりも、パン屋さんのパンの価格が遥かに高いということが判明した。</p> <p>【研究結果による提案】</p> <p>そこで、私たちは我々若者をターゲットに、どうすればパン屋さんでパンを買う人を増加させることができるのかを考え、神戸市を走る公共交通機関や神戸の観光施設と連携し、神戸に住んでいる若者や観光客がパン屋のパンを買いたいと思えるようなプランを提案したいと思う。</p> <p>私たちの発表を聞いて、パン屋さんでパンを買う若者が増えることを願い、神戸のパンがより多くの人に愛されることを信じている。</p>		